

JASMA 会報

2016年4月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM2016 OSAKA) 開催	1
第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催	3
第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール募集を開始します	4
平成27年度新興国市場開拓等事業等事業費補助金事業報告書について	4

国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM2016 OSAKA) 開催

当工業会は、2016年4月6日（水）から9日（土）の4日間、インテックス大阪で国際アパレル機器&繊維産業見本市（JIAM2016 OSAKA）を開催しました。多くの来場者が訪れ、各ブースとも活況を呈し、充実した成果あるショーとして成功裡に終了しました。世界15ヶ国・地域から、出展者数240社（前回は+15.9%）、1,277.8小間（前回は+24.2%）、いずれも前回の展示規模を上回り、プリンター関係、ノンアパレル関係の出展が増えました。また、4日間の来場者数は速報値で15,036名、そのうち海外からは2,858名（前回は+10.2%）となりました。

会期中は「特別企画:イベントステージ」、「主催者特別企画セミナー」等が行われ、多くの来場者の関心を集めていました。

●レセプション(前夜祭)

4月5日（火）の18時からハイアットリージェンシー大阪において、出展者をはじめ、来賓、関連業界関係者、報道機関、更に、海外縫製機械業界から中国縫製機械協会（CSMA）、米国のSPESAなど200名以上の招待者が出席し前夜祭を開催しました。当日は、中村会長の挨拶に始まり、来賓祝辞として経済産業省近畿経済産業局の関総一郎局長並びに大阪府の松井一郎知事（代読・津組 修大阪府商工労働部長）、大阪市の吉村洋文市長（代読・井上雅之大阪市経済戦略局長）よりご挨拶をいただきました。その後鏡割りが行われ、近藤副会長（JIAM2016実行委員長）による乾杯発声後、歓談が行われました。締めは眞壁副会長が行い、盛況のうちに終了しました。

●開会式

開催初日、9時40分からインテックス大阪内において、

出展者をはじめ、来賓、報道機関等の出席のもと、JIAM2016 OSAKA 開会式を執り行いました。主催者の中村会長の挨拶後、経済産業省製造産業局産業機械課の佐脇紀代志課長の来賓祝辞があり、その後、近藤副会長（JIAM2016実行委員長）が開会宣言をした後、関係者によるテープカットが行われました。

●特別企画:イベントステージ

会場内2号館のイベントステージでは、大阪モード学園の学生による「ファッションショー・コンテスト」、ファッションビジネスに関する「業界セミナー」、デザイナー並びにITジャーナリストによる「デジタルファッションクリエイター対談」、人気キルト作家のキャシー中島氏とご子息の手芸作家・勝野洋輔氏の「スペシャルトークショー」が行われ、繊維及びアパレル業界関係者を中心に多くの来場者が訪れ、賑わいを見せていました。



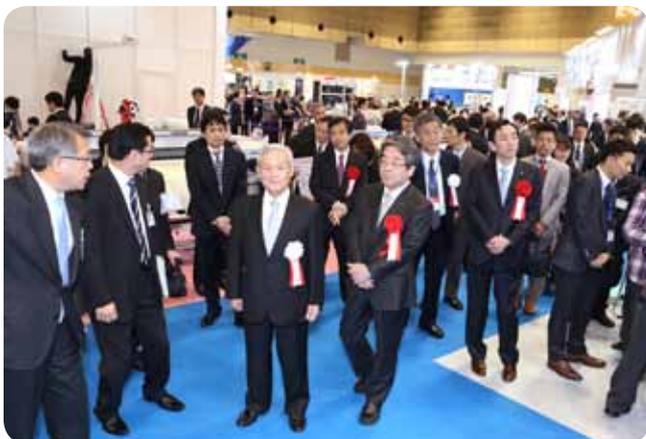
〈テープカット〉



〈レセプション〉

●主催者特別企画セミナー、テーマゾーン

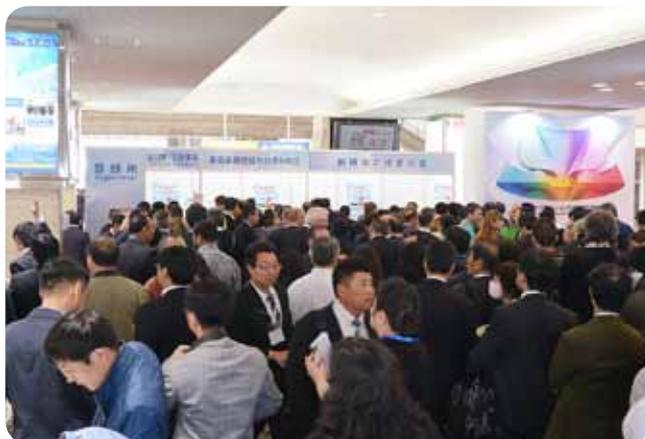
会場内5号館の特設セミナールームにおいて、繊維及びアパレル等の川上、川下業界の最新情報、将来ビジョン等に関するセミナーが行われ、更にテーマゾーンエリアでは「革新的ソリューションと高度加工技術」をテーマに、関連業界が抱える課題に対して最新技術やソリューションを提案し、いずれも多くの聴講者が訪れました。



〈来賓場内視察〉

●ホームソーイングゾーン

会場内2号館のホームソーイングゾーンでは、家庭用ミシンを使ったソーイング体験コーナー、当工業会主催の第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール経済産業大臣賞及び特別賞作品の展示等を行い、大人から子どもまで幅広い層の来場者に楽しんでいただきました。



〈入場登録所〉



〈特別企画セミナー〉



〈ファッションショー・コンテスト〉



〈スペシャルトークショー〉



〈ホームソーイングゾーン〉



第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催

2016年（平成28年）3月5日（土）、日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）において、第36回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式が受賞者、当工業会関係者等約130名の出席のもと盛大に開催されました。

最初に主催者の中村会長から、「今年の第36回作品コンクールは、昨年を上回る592校から4,283点のご応募をいただき、いずれもアイデアあふれた個性的な素晴らしい作品ばかりであった。今回の最優秀作品については、4月にインテックス大阪で開催される「国際アパレル機器&繊維産業見本市」（JIAM 2016 OSAKA）のホームソーイングゾーンに展示することとしている。当工業会は、今後も個性豊かな作品の制作とミシンソーイングの裾野を広げるために様々な活動に取り組んでいく。」と挨拶があり、続いてご来賓の経済産業省製造産業局産業機械課長 佐脇紀代志様から、「日本のミシンは世界各国で使われ、色々な創造力あふれる作品を生み出し、世界のものづくりを支えるために活躍している。皆さんはものづくりを支える産業を担う重要な人材として成長されることを期待している。」、文部科学省初等中等教育局児童生徒課教科調査官 市毛祐子様からは、「大変レベルの高い作品ばかり

で、作品に込めた思いが伝わってきて大変感動した。今後も作品作りに挑戦し、ものづくりの楽しさを味わっていただきたい。」と挨拶をいただきました。

経済産業大臣賞は、佐脇課長から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は市毛調査官から小学校、中学校、高等学校それぞれ各1校のホームソーイング振興最優秀校へ、賞状・賞品が授与されました。

この他優秀賞、アイデア賞については、中村会長から賞状・賞品の授与が行われ、特別賞の全国ミシン商工業協同組合連合会・技術賞は、同連合会の高松理事長から、またリクチュール賞は、リクチュール部会委員の佃由紀子様から、それぞれ賞状・賞品の授与が行われました。

審査の結果については、本コンクール審査委員会の櫻井委員長から、「今年は全般に亘ってエネルギーあふれる作品が多く、確かな縫製技術でコツコツと地道に努力して、確かな作品作りが行われていた。」と感想が述べられました。

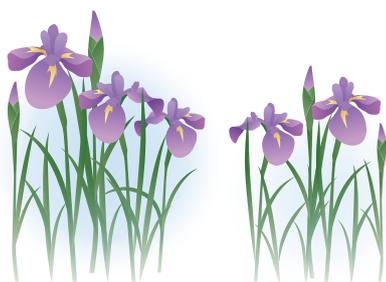
受賞者を代表して、千葉県立佐倉東高等学校の高橋伶弥さんから、「これから服飾系専門学校へ進学しても、今回素敵な賞をいただいたことを自信にし、将来服に携わる仕事に就きたいと思っている。」と挨拶がありました。



〈表彰式〉



〈受賞者交流会〉



佐脇 紀代志 産業機械課長



市毛 祐子 教科調査官



櫻井 純子 審査委員長

最後にリクチュール塾卒業生・デザイナーの山口大人氏の特別講演が行われ充実した式典となりました。

表彰式終了後、隣接する特設会場において受賞者とその家族、来賓、学校関係者、会員及び報道機関等が参加し受賞者交流会が開催されました。

会場には、経済産業大臣賞、優秀賞、アイデア賞、特別

賞などの上位入賞作品の展示が行われ、また飲物と軽食が用意され、友だちや家族、学校の先生たちと楽しく談笑するなど和やかな雰囲気に入れ、作品の前で受賞者が家族や友人たちと一っしょに記念写真を撮ったりするなど、明るく賑やかな一時を過ごしていました。

第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール募集を開始します

全国の小・中・高校生を対象とした「第37回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品募集が始まりました。詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

1. 応募部門：

(1) 小学生の部 (4・5・6年生)

※新たに4年生を追加しました。

部門は特に設けていません。中学生、高校生の全ての作品部門を含みます。

(2) 中学生の部

①小物・インテリア作品部門 ②衣服作品部門

③リメイク・デコ作品部門

④アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

(3) 高校生の部

①小物・インテリア作品部門 ②衣服作品部門

③リメイク・デコ作品部門

④アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

2. 応募作品、応募方法他については、当工業会ホームページをご覧ください。

3. 締 切:平成28年10月31日(月)

4. 応募先・お問い合わせ先:

一般社団法人日本縫製機械工業会

「第37回作品コンクール」係

TEL.03-6435-8190 FAX.03-6435-8192

Eメール: info@jasma.or.jp URL: <http://jasma.or.jp>

平成27年度新興国市場開拓等事業等事業費補助金事業報告書について

当工業会は2015年(平成27年)8月から2016年(平成28年)3月15日まで、平成27年度新興国市場開拓等事業等事業費補助金事業(ミッション・見本市等出展支援事業(エチオピア、タンザニア等:縫製機械産業等における国際展開支援)を実施しました。

事業の内容は、エチオピア、タンザニア等の東アフリカ地域で、縫製機械のユーザー産業(縫製工場等)の立地

が進んでいることから、現地での見本市・展示会への出展を通じて商談会を行い、我が国企業の進出拡大につながることを目的として、現地市場の実態調査を行いました。

このたび実態調査の結果を基に現地市場が抱える現状の問題点・課題他、今後の将来性等を整理し報告書として取りまとめました。4月末に会員企業を中心に頒布しますのでご覧ください。

編集後記

「JIAM2016 OSAKA」を開催し成功裏に終了できました。会期は4月6日(水)から9日(土)の4日間で、関西地方の満開の桜の時期と重なり、海外からの来場者もJIAMと桜の両方を見ることが出来て大いに満足されたことと思います。

「JIAM2016 OSAKA」は「革新的ソリューションと高度加工技術」をテーマに、各社の最新鋭機種が出展されました。前回に比べ出展社数、出展小間数、海外来場者数は大きく上回り好評でした。

これも会員企業をはじめ関係機関等のご協力の賜物と厚くお礼申し上げる次第です。(I.M.)

JASMA 会報

Vol.13 No.1 2016年4月28日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者: 湯原 孝志

〒105-0004

東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階

TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <http://jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、当工業会ホームページに掲載しております。